

## 平成31年度 教育活動の具体

### 確かな学力を保障する

#### 1 指導と評価の一体化を日常的に実践し、生徒の学習意欲の向上を図る

- ・単元のゴールの姿をとらえさせ、生徒の興味関心を喚起できるように、課題設定を工夫する。
- ・自己評価や次時へのつながりなど、学ぶ意欲が高まるように振り返りの場を工夫する。
- ・教科教室の活用など、学習意欲が高まるような施設・設備の活用を工夫する。

#### 2 教材・教具・学習形態など、様々な工夫で生徒の思考力・判断力・表現力を高める

- ・高い思考力を要する問題などをテストや家庭学習に積極的に取り入れる。
- ・討論やポスターセッション、ICT機器の活用など、多様な表現活動の場を意図的に取り入れ、生徒の表現の機会を設ける。
- ・新聞記事を取り上げ感想や意見を書かせるなど、自分の意見を表す場を積極的に設ける。

#### 3 家庭学習の習慣化・選択化・個別化を工夫し、生徒に学習習慣を身につけさせる

- ・自分の意欲や習熟度に応じた課題を選択できるようにする。
- ・自主学習のしかたについて指導する時間を設けたり、発展問題を自主的に活用できるようにしたりして、主体的に家庭学習に取り組めるようにする。

#### 4 個別の支援のあり方を探り、生徒一人ひとりの学力を伸ばす

- ・ティームティーチングや少人数授業を取り入れるなど、個別支援の充実を図る。
- ・時間割に別室学習支援対応の教師を割り振り、個別に支援が必要な生徒にも対応できるようにする。

### 自主自律を培い、自立心を育む

#### 1 生徒の自己決定の機会を大切に、試行錯誤や達成感を味わわせる活動を重視する

- ・共通な問題に対して学級会で話し合う場を設けるなど、自分たちで問題を解決できるような活動を重視する。
- ・教師集団全員で生徒一人ひとりと共感的人間関係を築き、生徒の自己決定に対して支援する。

#### 2 特別の教科道德の充実を図り、道徳的実践意欲と態度を育む

- ・道徳の時間だけでなく、教育活動全体を通して道徳力を高める指導を実践する。
- ・ソーシャルスキルトレーニングなど、課題解決的な学習を取り入れる。

#### 3 特別活動の充実を図り、共感的な絆づくりを奨励する

- ・生徒会活動や部活動を、「生徒同士の共感的な絆づくりの場」ととらえ、活動を計画する。
- ・委員会活動を見直し、創造的な活動を積極的に取り入れる。
- ・部活動部長会を定期的に設け、目標や活動内容をお互いに確認しあう。

#### 4 生徒が抱く夢や希望に共感し、グローバルな未来をたくましく生きる志を育む

- ・多方面で活躍する二中の卒業生による講演会を実施する。
- ・高校や上級学校の先生などの話を聞く機会を設ける。

### 安全・安心・安定で、信頼を結ぶ

#### 1 生徒・保護者・地域の目線を大切に、チーム支援で安全・安心・安定を図る

- ・心のアンケートを毎月実施するとともに、日頃からアンテナを高くして生徒の様子の変化を敏感に察知できるようにする。
- ・登下校時の安全のため、地域のハザードマップを見直す機会を設ける。
- ・青少年育成推進委員や民生児童委員らと連絡を取り合い、生徒や地域に関する情報を共有する。

#### 2 開かれた学校・地域とともにある学校をめざし、地域・保護者と協働関係を構築する

- ・「生徒の生の姿こそ何よりの情報発信」の姿勢のもと、生徒の地域での活動を奨励する。
- ・公民館と連携し、地域の活動の情報提供や学校行事等の連絡調整を行い、地域との連携を深める。
- ・通信やHP、保護者メール配信サービスなど、生徒の活動の様子を伝える機会を設ける。

#### 3 「生きる力」の土台づくりとして、心身の体力向上を図る

- ・生涯を通じてスポーツを楽しむ心を育むために、部活動の自主的な取り組みを奨励する。
- ・応急処置のしかたを学習する機会を設ける。
- ・特設駅伝部を設置し、体力向上の場として位置づけて、積極的な参加を呼びかけていく。

#### 4 教師の危機管理(危機察知・危険回避)能力を向上させ、生徒の心身の安全を確保する

- ・「～だろう」ではなく「～かもしれない」という視点でリスクマネジメントに当たる。
- ・「報告・連絡・相談・記録」「すぐ報告すぐ行動」「チーム対応」を徹底し、リスクマネジメントにあたる。
- ・多様な事故や災害の想定のもとに、実効的な避難訓練を実施する。